

パーフルオロオクタン酸(PFOA)に係る地下水質調査結果等について

平成20年3月3日(月曜日)

代表連絡先	環境管理室 化学物質対策グループ ダイヤルイン番号 06-6944-9248 メールアドレス kankyokanri-g02@sbox.pref.osaka.lg.jp
-------	--

昨年11月に実施したパーフルオロオクタン酸(PFOA)の地下水調査の結果、ふっ素樹脂メーカーの敷地内の井戸で150,000ng/LのPFOAが検出されましたので、同事業所の周辺部における地下水中のPFOAの濃度分布を把握するため、大阪市と連携して調査を実施し、その結果をとりまとめましたのでお知らせします。

1. 調査方法

- i 調査地点
13地点(別図1)
- i 調査期間
平成20年2月4日～2月13日(試料採取期間)
- i 調査機関
大阪府 11地点
大阪市 2地点
- i 分析項目
PFOA

2. 調査結果(別表1)

- i 昨年11月の調査で高濃度を検出した井戸(A-1:150,000ng/L)を中心に、半径約1.5km内にある13井戸(深さ10m以下の浅井戸11井戸、深さ40mの深井戸2井戸)について調査を実施しました。なお、これらの調査井戸の地下水は飲用に供されておられません。
- i 浅井戸の調査結果は、510 ng/L～39,000ng/Lの範囲であり、最高濃度は、A-1の東約400mのc地点で検出されました。
- i 深井戸の調査結果は、j地点(A-1の北東1.5km)で0.9ng/L、k地点(A-1の東北東2.5km)で68ng/Lと低濃度でした。
- i 今回の調査では、PFOAは地下水流の上流側の北方向の地点では比較的濃度が低く、東北東及び南西の方向に比較的高い濃度分布をしていることがわかりました。

3. 今後の対応

- i 大阪府としては、昨年11月の調査において敷地内井戸で高濃度PFOAを検出したふっ素樹脂メーカーに対し、今後、原因の調査とともに敷地内における地下水PFOA濃度のモニタリングについて自主的取組を促していきます。
- i 現在、このふっ素樹脂メーカーの工場は、米国環境保護庁(EPA)の「PFOA管理計画」に基づき、PFOA削減に自主的に取り組んでいますが、大阪府としても、当該ふっ素樹脂メーカーにおける取組状況について随時把握していきます。
- i ふっ素樹脂メーカーの「PFOA管理計画」に基づくPFOA排出量の削減に伴い、地下水中のPFOA濃度も低下することが期待されますが、大阪府としては、ふっ素樹脂メーカーの工場敷地外で高濃度が検出された1～2地点で、年1回程度の測定を実施し、その効果をモニタリングしていきます。
- i また、現在、地下水等の濃度を評価する基準値が設定されていないため、大阪府は、国に対してリスク評価の早急な実施とリスク評価結果に基づく措置の実施を要望しました。大阪府の要望等を受け、国においてはPFOAの環境リスク初期評価を実施し、その結果、『現時点ではリスクの判定はできないが総合的に考えて関連情報の収集が必要』という評価が出され、今後、生体や環境中における存在状況の調査等に取り組むとされています。

《参考》

PFOA(パーフルオロオクタン酸)について

- ・ふっ素を含む有機化合物の一種。動物実験で肝臓毒性や発達への影響、発がんとの関連などが指摘されておりますが、人体への毒性は明らかになっていません。
- ・極めて安定な化合物であるため、環境中で分解されにくく、人間の血液中や野生生物からも検出さ

れています。

・ふっ素樹脂製造時の反応の補助剤として使用されるため、ふっ素樹脂製造工場の排水に含まれるほか、製品(ふっ素樹脂加工に用いられる液)に不純物として含まれています。

※ふっ素樹脂の用途 …フライパン・炊飯ジャー等のコーティング、配管チューブなど

・世界のふっ素樹脂メーカー8社は、昨年、米国環境保護庁(EPA)との間で環境への排出削減と製品中の含有量の低減に自主的に取組む「PFOA管理計画」に合意しました。この計画では、PFOAの排出量及び製品中の含有量を、2010年までに95%削減(対2000年比)し、2015年までに全廃することを目指す自主的取組を進めています。「PFOA管理計画」は、世界的な自主的取組であり、国内のふっ素樹脂メーカー3社も、この計画に参加して同様の取組を進めています。

関連ホームページ [神崎川水域におけるPFOA等に係る水質調査結果等について](#)

添付資料 [別図1 PFOA地下水調査地点\(PDF形式 47KB\)](#)
[別表1 PFOA地下水調査結果\(PDF形式 23KB\)](#)